

令和5年第3回（6月招集）袖ヶ浦市議会定例会

市政に関する一般質問通告者一覧表

11名 18件

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
1	3番 木村 淑子議員	1 教育環境の整備・充実について	(1) 文部科学省が発表した「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校に対する支援について、本市の取組を伺います。
			(2) 本市の中学校の部活動の現状と、部活動地域移行に関する取組を伺います。
			(3) 救命に有効とされるAEDについて、小中学校での使用状況、訓練状況を伺います。
			(4) 本年3月に統合された平岡小学校幽谷分校の今後の利活用について、どのように検討しているか伺います。
		2 市民の健康を守る取組について	(1) 熱中症による被害を防ぐために、本市の熱中症の予防対策を具体的に伺います。
			(2) 健康づくり事業である「ガウラ健康マイレージ」は令和元年度に終了となりましたが、その経緯と現状を伺います。
(3) 市内在住の65歳以上の方が介護支援ボランティアとして登録し、市の指定を受けた事業所でボランティア活動を行うと付与される「介護支援しあわせポイント」の普及状況を伺います。			
2	1番 佐藤 博文議員	1 教育行政について	(1) 児童・生徒たちのICTを活用した授業について
			① タブレット端末を活用してどのような授業を行っているのか。
			② 教職員がICTを活用した授業を行う上でのサポート体制について
			③ 今後のタブレット端末や電子黒板、大型モニターなどの更新計画について
			④ 市内小中学校における教職員に対するタブレット端末の配布状況について
			⑤ 市内小中学校での電子書籍を活用した授業の実施状況について

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 中学校部活動の地域移行について</p> <p>① 現在の市内中学校の部活動地域移行の状況について</p> <p>(3) 学校教職員の職場環境の課題について</p> <p>① 市内学校職場において働き方改革を進めている中で、教職員の時間外在校時間数の推移について</p> <p>② 教職員の人員確保について、小中学校の教員配置状況を伺う。</p>
3	17番 吉岡 淳一議員	<p>1 気候変動に伴い激甚化する自然災害への対応について</p> <p>2 新庁舎整備について</p>	<p>(1) 温暖化に対する市長の認識を問う。温暖化防止に向けた市民一人ひとりに必要な行動とは何か。</p> <p>(2) 気象庁はこの5月の真夏日は、温暖化が原因と発表している。近年の異常気象は住民の生活に脅威となっている。また南海トラフ地震、首都圏直下型地震など迫りくる大規模災害に対する備えは大事であるが、専門的な知識経験を有する退職自衛官の任期付採用はどのような災害対応を想定しているのか。</p> <p>(3) 災害発生時には自助・共助が大事であるが、その担い手である防災士育成の考えはあるか。市内防災士は何人いるか把握しているか。民間防災士との連携、災害発生時に防災士が活動できる体制にあるか。</p> <p>(1) 新庁舎での執務環境について、感想を伺う。</p> <p>(2) 新庁舎はZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）をどう活かされているか問う。</p> <p>(3) 新庁舎は免震構造となっているが、早くも壁面が剥離した箇所がある。不具合は何箇所あったか。</p>
4	10番 村田 稔議員	<p>1 市が管理している公園の現状と課題、今後について</p>	<p>(1) 個所数と総面積について</p> <p>(2) 維持管理に要する費用について</p> <p>(3) 付帯施設・設備等の点検について</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			(4) 今後の維持管理をしていく中で懸念される問題等については何か、またそれらについてどのように考えているか。
5	5番 稲毛 茂徳議員	1 令和元年9月の台風15号・19号の経験を活かした、災害に強いまちづくりについて	<p>(1) 令和5年度に計画している森林経営管理事業において、災害に強い森づくり事業の概要について</p> <p>(2) 令和元年9月の台風15号において、市内及び近隣市・県内各所にて倒木による停電が発生し復旧に時間を要したことから、予防的な伐採の必要性が問われているが市内の対応状況について</p> <p>(3) 令和元年9月の台風15号・19号や様々な災害を教訓として、災害に強いまちづくりを進めていると認識しているが、減災・防災の観点から令和元年以降の取組について</p>
6	7番 湯浅 榮議員	1 蔵波台の安全性と美観の向上について	<p>蔵波台の土地区画整理事業は、昭和45年から58年の13年の歳月をかけて完成しました。また、ほぼ同じ時期に同規模の事業が福王台、長浦駅前で行われました。それぞれ共通して言えることは、環境面では幹線道路から宅地に入った道路には側溝に蓋がないことと、社会的には高齢化が進んでいることです。</p> <p>2020年の国勢調査による蔵波台の人口は8,553人、世帯数は3,696世帯で、袖ヶ浦市の中では一番大きな団地であります。</p> <p>昨今、宅地開発されたところを見ると側溝はすべて蓋がされています。蓋があることによって、安全性と美観が格段に向上するからです。市内の団地も含めて必要性の高いところから側溝に蓋をすることを望むところです。</p> <p>以上のことから、次の6点について伺います。</p> <p>(1) 蔵波台の未施工部分の蓋をしないか。</p> <p>(2) 蔵波公園のトイレを新しくしないか。</p> <p>(3) 蔵波公園の芝生広場をもう一度芝生に甦らさないか。</p> <p>(4) 蔵波公園内の土地区画整理の完成記念碑の安全性について</p> <p>(5) 各街区公園の水道の敷設状況について</p> <p>(6) 各公園の安全性・美観向上として</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>① 特に、蔵波公園、姥坂公園の浮き出した木の根について</p> <p>② 蔵波公園の尾張屋側からの遊歩道の新設について</p> <p>③ 蔵波公園の私設物（U字溝階段）について</p> <p>④ 不要と思われる埋設物について</p> <p>⑤ 汐見公園の側溝の土や落ち葉の埋まった状態について</p> <p>2 身寄りのない人の死亡（無縁遺骨）について</p> <p>人生100年時代と言われ始めてから久しくなりましたが、それが故、別の問題も見えています。これらの問題は、少子高齢化・多死化により今後加速するものと考えられます。 身寄りのない人が死亡した場合、行政としてどのように扱うのか。</p>
7	18番 励波 久子議員	<p>1 市民会館・公民館の市長部局への移管について</p> <p>2 公共交通と市民の足の確保について</p>	<p>(1) 市長部局に移管することで、今まで以上に市民会館・公民館を利用してもらえるようになるとしていますが、具体的方策が示されていません。市長の考える具体策について伺います。</p> <p>(2) 利用者懇談会・社会教育推進員会議・公民館運営審議会で、たくさんの意見や不安の声も出されています。このような意見が出されている状況で9月に（仮称）コミュニティセンター設置条例の上程をするスケジュールとなっていますが、拙速に決めるべきではないと考えます。公民館は市民のためのものであり、もっと十分な議論を尽くすべきと考えますがいかがか伺います。</p> <p>(1) デマンド交通「チョイソコがうら」について</p> <p>① 利用状況について、またこの間の取組について伺います。</p> <p>② 実証運行を成功させるためには、周知啓発がまだ十分とは言えないと考えます。今後の取組について伺います。</p> <p>③ 高齢者だけでなく、まだ運転のできる方や若い世代の方も利用できるよう、土曜日や利用時間帯を18時くらいまでのばせないか伺います。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 高齢者タクシー料金助成事業について</p> <p>① 今後さらに高齢化が進み、免許を返納すると市の検診を受けることも難しくなってくる。特に産婦人科が市内にない中で、木更津市や市原市まで行かなくてはならない。君津中央病院や、帝京大学病院へ通院している高齢者も多く、非課税世帯に限定せず、対象者を拡充していかないか伺います。</p>
8	23番 篠崎 典之議員	<p>1 市民の健康と自然を守る環境保全行政について</p> <p>2 一般家庭からの廃棄物処理行政について</p>	<p>(1) 異臭・騒音・火災など市内スクラップヤードによる住民生活への不安が続きマスコミでも取り上げられた。4月1日施行「袖ヶ浦市再生資源物の屋外保管に関する条例」による届出等現状と解決までの対応をどう見込むのか。</p> <p>(2) スクラップヤード周辺住民からは「『袖ヶ浦へようこそ!』と書かれた陸橋をくぐった途端、スクラップヤードばかりでイメージダウンだ」「早朝から硫黄のような異臭で気分が悪くなり平穩に暮らせない」「身体に影響がないか不安だ」「堆積スクラップが崩れたら危険」などの声が聞かれる。水質・異臭・騒音の検査はどうしているか。異臭等を検査する機器を導入し、規制や改善につなげないか。</p> <p>(3) 林地区陳場台の破碎瓦、廃金属等の大量堆積物について千葉県は、地元住民説明会で根拠も示さず表面物のみを見て「有価物である」と決めつけ、反発が広がっている。市と県が業者と交渉し、掘削調査し、撤去させるべきである。市は対処するのか。</p> <p>(4) 川原井の東京ドイツ村近隣の残土埋立て計画についてその後の動きはどうか。市長は、なぜ独自の残土規制条例を制定しないのか地元住民が納得できるように説明していただきたい。</p> <p>(1) ごみの減量のために45リットルの指定ごみ袋1枚45円で販売する計画は、荒唐無稽であり減量にも市民意識変化にもつながらないと考える。指定ごみ袋の値上げ計画は白紙撤回しないか。徳島市では、今年5月から「燃やせるごみ」の名称を「分別がんなばったんやけど、燃やすしかないごみ」に変更し、減量に役立つと評判になっている。本市も名称変更も含めこのような例に学び、分別・減量につなげないか。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
			<p>(2) 高齢の方、障がいを持つ方の中には、「燃やすごみ」や新聞・雑誌などの廃棄物をごみステーションまで運ぶのも大変な方がいる。一部地域に有償ボランティア活動のごみ出しを利用している方もあるが限定的である。市として、全市的に戸別にごみ収集のサポートを行うしくみをつくらないか。</p>
9	19番 佐藤 麗子議員	<p>1 こどもまんなか社会の実現に向けた取組について</p> <p>2 これからの防災対策について</p>	<p>本年4月1日よりこどもまんなか社会の実現に向けて、常にこどもの視点に立って、こども政策に強力かつ専一に取り組む独立した行政組織として、こどもと家庭の福祉の増進・保健の向上等の支援、こどもの権利利益の擁護を任務とするこども家庭庁が設置され、こども基本法も施行された。</p> <p>これを受け、地方自治体に対しても、市町村こども計画の策定やこども施策の策定・実施・評価に当たり、こどもや子育て当事者等の意見を聴取して反映させるために必要な措置を講ずること、また関係機関・団体との有機的な連携の確保など様々な取組が求められているが、袖ヶ浦市として今後どの様に取り組んでいくのか伺う。</p> <p>本年5月、木更津市で震度5強を観測した地震をはじめ、緊急地震速報が流れる頻度が増えている他、台風災害や強風雨などいつ巨大災害が起きてもおかしくない状況が続いている。</p> <p>昨年10月23日に行われた袖ヶ浦市総合防災訓練は、庁舎内に対策本部を設けたり、地域ごとに分かれ、より実践に即した訓練を行うなど大きく変化をした。そこで、まず今年の防災訓練の評価について伺う。</p>
10	8番 根本 駿輔議員	1 交通施策について	<p>(1) チョイソコがうらの現状について、本格導入に向けての判断基準としている指標（乗合率・利用者数・収支率）に対して状況はどうか。</p> <p>(2) 袖ヶ浦駅北口地区は高速バス需要が比較的強いと思われるが、直行便がほとんどないこと、バスターミナルとの接続が今ひとつで、あまり使い勝手が良くないとの声もある。改善していく方針はあるか。</p>

質問順	通告者	質問事項	質問要旨
		2 再生資源物の屋外保管に関する条例施行後の状況について	再生資源物の屋外保管に関する条例、いわゆる金属スクラップヤード等に関する条例について4月から施行されたが、新規の許可申請、既存事業場の届出についてどのような状況か。
11	20番 笹生 猛議員	1 総合計画における後期基本計画策定と実施計画について	本市では令和2年度を初年度とする総合計画に基づき、本年度は第2期実施計画が始まっている。現総合計画は台風被害からの復興や新型コロナウイルス感染症への対応など災害対応に追われての実行であったと認識している。 このような状況下での第2期実施計画の策定、さらに後期基本計画の策定について伺う。